

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	交通安全施設等整備事業		路河川名等	(主)信濃信州新線				
事業毎の通番	1	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	戸隠神社奥社(とがくしんじゃおくしゃ)			
事業目的	(主)信濃信州新線は、信濃町から長野市戸隠、鬼無里、小川村を経由し、長野市信州新町間を結ぶ幹線道路である。当該区間は戸隠神社や戸隠高原を中心とする主要観光地であるが、特に戸隠神社奥社周辺は歩道が未整備で車両・歩行者双方の安全に支障をきたしている。そこで、当事業は歩行者の安全確保のため歩道を設置するものである。							
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-4生命・生活リスクの軽減(交通安全対策の推進)		事業実施の根拠法令等	交通安全施設等整備事業に関する法律				
関連する事業、計画等	地域戦略推進型公共事業(戸隠奥社歩道設置事業) 歩こう! 走ろう! 観光地の歩道グレードアッププラン							
保全対象・範囲 受益対象・範囲	戸隠神社観光客(国内外)							
着手年度	平成30年度	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完成年度(見込み)	平成36年度	費用対効果	—	国庫	110,000	その他	81,000	
全体事業内容(主な工種)	歩道設置工 L=1,000m W=2.5m			200,000	110,000	81,000	9,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩道利用者の安全確保、特に観光客の交通事故の減少が期待される						
	間接的効果(定量的・定性的)	緊急輸送路、バス路線の整備 通行車両の交通事故抑制、観光客の誘致						
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量:3039台/日 ○現況自転車歩行者交通量:戸隠神社奥社観光客 100人/日以上					評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合: 地域戦略推進型公共事業 歩こう! 走ろう! 観光地の歩道グレードアッププラン ○緊急輸送道路の路線指定: 県緊急輸送道路(2次)					評価	B
	効率性	○事業期間:7年間(H30~H36)					評価	C
	緊急性	○近年の交通事故件数:3件 ○通学路対策:通学路指定なし ○現況の歩道幅員:歩道なし					評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者を中心に周知(H29.3地元説明) ○地域の取り組み:歩道設置検討委員会設置(H29.3) ○地域の合意形成:合意形成が図られている ○住民との協働:歩道完成後の利活用について、歩道設置検討会議で検討					評価	A
	所管課意見	戸隠神社をはじめ戸隠高原を代表する観光地であるが、歩道が未整備であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。					採択状況	○
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。							
総合評価	B							

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】	
事業周辺環境	【整備の必要性がわかる状況写真等】	
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	長野市の戸隠地域は、戸隠神社や戸隠高原を中心とする主要観光地であり、年間多くの観光客が訪れている。特に近年メディアにも取り上げられ人気を集めている戸隠神社奥社・中社・宝光社のうち(主)信濃信州新線沿線の奥社周辺は、駐車場が数箇所あるが、参道入口まで歩道が無いため、交通の安全が確保されてない状況であるため、対策が望まれている。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本路線は、地元自治体及び地域住民より歩道設置の要望が毎年出されている。
	③事業説明等の経緯	H29.3月「戸隠神社奥社周辺歩道設置検討会議」発足
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	地域戦略推進型公共事業(戸隠奥社歩道設置事業) 歩こう! 走ろう! 観光地の歩道グレードアッププラン
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	妙高戸隠連山国立公園 第二種特別地域に指定されており、環境配慮について検討している。
⑥地域活性化への影響と配慮	安全で快適な歩道空間の整備により沿道の活性化が図られる。	
⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 45' 22.1" 東経:E 138° 4' 45.9"